

令和6年度 施策評価シート

基本目標	Ⅲ	新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる
政策	320	こだわりをもった魅力ある商業・サービス業の集積を進める
施策	321	消費者から選ばれる魅力ある個店の集積を進める
施策の目標	消費者のニーズに的確に対応するとともに、新たな提案を行うことができ、利用者が「何度も行きたい」と思うような魅力的な個店が集積し、多くの消費者が訪れ、買い物や飲食、サービスを楽しんでいます。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	「区内になじみの店がある」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					78.0%					80.0%
実績	75.1%				72.5%					

指 標 名	個店の魅力アップのための取り組み数※R2, R3は新型コロナの影響により事業中止									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		15	15	15	15	15	15	20	20	20
実績		18	17	15	0	0	21	17		

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
商業者の多様な課題・ニーズに柔軟に対応しながら、個店の魅力向上やPR支援のための取り組みを進めている。なお、本施策に係る事務事業（「地域力を育む商業空間づくり推進事業」等）については施策322に関連しており、その比重が施策322の方が大きいいため、当該事務事業の評価は施策322に集約して実施している。	R3	0
	R4	0
	R5	0

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	各事務事業が順調に機能している。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
見直しが必要な事業はあるものの、目標との乖離は認められず順調に推移していると判断できるため	
【今後の具体的な方針】	
商店街支援や個店支援の充実を図りつつ、効率的な補助金交付に努める。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	目的に対する指標	直近の評価内容
					年度目標値	評価結果
					年度実績値	評価対象年度
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						